

令和6年度 第1回

苫小牧市防犯のまちづくり懇話会開催結果

日 時	令和6年9月24日（火） 15:00～16:00
場 所	苫小牧市役所2階 21会議室
出席委員	山端委員長、松村副委員長、谷澤委員、在家委員、松平委員、佐藤委員、柳田委員、尾崎委員、中田委員
欠席委員	渡邊委員、藤委員、向井委員
市側出席	柴田市民生活部部长、畑島市民生活課課長、本田市民生活課課長補佐、池淵市民生活課主査、福井市民生活課主査
開催概要	<p>【会議次第】</p> <p>1 開会</p> <p>2 市民生活部部长挨拶</p> <p>3 役員選出</p> <p>委員より、事務局一任の声あり。</p> <p>事務局より、委員長を山端委員、副委員長を松村委員に願います。</p> <p>4 報告事項</p> <p>山端委員長の就任の挨拶後、委員長が懇話会を進行。</p> <p>報告事項（1）苫小牧市防犯のまちづくり懇話会設置要綱について、（2）苫小牧市防犯ガイドブックについて、（3）第3次苫小牧市総合防犯計画（素案）について、委員事前アンケート（質問・意見・要望事項）に係る回答について、事務局より一括説明。</p> <p>5 懇談要旨</p> <p>【委員】</p> <p>・総合防犯計画（素案）のP23の防犯カメラについて、「記録データは2週間保存し、事件発生時に速やかに対応します。」と書いてあるが、事件発生前にデータを点検することはできないのか。そうする</p>

ことで不審者がどこにいるかとかわかるのではないか。事件発生後だと防犯にはならないのではないか。

【市回答】

- ・事件発生前だと「何をもって不審者と位置付けるか」というところの判断が非常に難しい。2週間データを蓄積しているため、犯罪がおきた後に警察が開示の要求を市に行い、データを提供し、実際に捜査情報を持っている警察の方でそれに該当する容疑が考えられるものを特定し、犯人の特定や事件の解決に向けてこの映像は使われるというのが防犯カメラの映像でございます。

【委員長】

- ・事前アンケート「3 小学校開錠時間について」教育委員会より子供の安心・安全を保つ体制を図り今後も協議していくとのことなので、いったんご意見等を終了したい。

【各委員】

- ・了承

【委員長】

- ・次回の懇話会のテーマについて、報告事項「(3) 苫小牧市総合防犯計画(素案)」を取り上げ、議論を深めたい。

【各委員】

- ・了承

6 その他

【委員】

- ・防犯に関する活動の内容説明及び資料提供

【委員】

- ・委員に関連して、市では防犯より交通安全に関する条例を持っていて、その中に「教育の推進」というのがあるが、防犯の部分には「防犯教育に関する推進」というのがないので、先ほどの佐藤委員の話を踏まえれば条例の中で「防犯に関する教育」を1項加えれば、防犯意

識を啓発するといういい効果があると思うので、条例改正を検討できないか。

【市】

- ・今のお話があったのは、条例の中での教育の推進という防犯と交通安全の解釈の違いだとは思いますが、条例の改正が筋道だとは思いますが、条例の改正には時間が必要なので、まずは計画の中で取り込める部分は盛り込んでいく、条例改正については別途こちらの方で検討させていただきたい。

【委員】

- ・了承

【委員】

- ・今週末、性犯罪に関する講演会が市民活動センターであるため興味がある方は聞いてほしい。

【市】 次回の開催は11月を予定しているが、総合防犯計画について内容の精査したものをお示ししたい。ご意見等をお寄せいただきたい。

15 : 58 終了